

## 2024 年度 授業計画(シラバス)

学 科	言語聴覚士学科昼間部		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名	小児聴覚障害		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	2年生		学期及び曜時限	後期 火曜1限木曜30言	教室名	4校舎301教室
担 当 教 員	矢部 洋子	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
主に先天性聴覚障害児について、発達段階に沿った聴力検査の方法、補聴器等の装用と聴能訓練の基礎知識を身につける。また療育や就学問題、家族の援助方法への理解を深める。						
《成績評価の方法と基準》						
学期末テスト(筆記試験)において60%以上の得点をもって合格とする。						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
(教科書)標準言語聴覚障害学「聴覚障害学第3版」 医学書院						
《授業外における学習方法》						
指定教科書の該当範囲を事前に読んでおく。						
《履修に当たっての留意点》						
医学的知識から療育まで、広い視点をもって学んでいきましょう。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	聴覚の機能について理解する	PC, プロジェクター配布資料 教科書	教科書の該当箇所を読む	
		各コマにおける授業予定	聴覚のはたらき、聴覚の発達、聴覚障害の分類などを学ぶ			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	聴覚障害のリハビリテーションの歴史と現状について理解する	PC, プロジェクター配布資料 教科書	教科書の該当箇所を読む 前回の復習	
		各コマにおける授業予定	聴覚障害のリハビリテーションの概要を学ぶ			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	小児難聴のリハビリテーションの内容について理解する	PC, プロジェクター配布資料 教科書	教科書の該当箇所を読む 前回の復習	
		各コマにおける授業予定	コミュニケーションモードの違いについて、聴覚の発生～聴覚回路の形成について学ぶ			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	選別(スクリーニング)聴力検査について理解し説明できる	PC, プロジェクター配布資料 教科書	教科書の該当箇所を読む 前回の復習	
		各コマにおける授業予定	検査の種類、目的、実施時期、実施方法などについて学ぶ			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	乳幼児聴力検査について理解し説明できる	PC, プロジェクター配布資料 教科書	教科書の該当箇所を読む 前回の復習	
		各コマにおける授業予定	検査の種類、目的、実施時期、実施方法、法律について学ぶ			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	聴覚障害児の診断・評価について学ぶ	PC, プロジェクター配布資料 教科書	教科書の該当箇所を読む 前回の復習
		各コマにおける授業予定	症例を通して、診断・評価の流れを理解する		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	聴覚障害児の言語評価について学ぶ	PC, プロジェクター配布資料 教科書	教科書の該当箇所を読む 前回の復習
		各コマにおける授業予定	聴覚障害児の言語評価の目的や種類、実施上の注意点などについて学ぶ		
第8回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	聴覚障害児のリハビリテーション(コミュニケーション)について学ぶ	PC, プロジェクター配布資料 教科書	教科書の該当箇所を読む 前回の復習
		各コマにおける授業予定	乳幼児期～学童期のコミュニケーションの特徴や指導について理解する		
第9回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	聴覚障害児のリハビリテーション(絵日記指導)について学ぶ	PC, プロジェクター配布資料 教科書	教科書の該当箇所を読む 前回の復習
		各コマにおける授業予定	絵日記の指導目的を理解する。聴覚障害児の言語発達段階を考慮した絵日記を作成し、語彙や文構造、MULなどについて復習する。		
第10回	演習形式	授業を通じての到達目標	聴覚障害児の疑似体験(1)	PC, プロジェクター配布資料 教科書	教科書の該当箇所を読む 前回の復習
		各コマにおける授業予定	聴覚障害児の疑似体験(読話、指示理解)を通して聴覚障害児者が受け取る情報を知り、聴覚障害児者の心理状態や支援方法を学ぶ		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	聴覚障害児の疑似体験(2)	PC, プロジェクター配布資料 教科書	教科書の該当箇所を読む 前回の復習
		各コマにおける授業予定	聴覚障害児の疑似体験(読話、指示理解)を通して聴覚障害児者が受け取る情報を知り、聴覚障害児者の心理状態や支援方法を学ぶ		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	聴覚障害児のリハビリテーション(聴覚活用と音声言語)について理解し説明できる	PC, プロジェクター配布資料 教科書	教科書の該当箇所を読む 前回の復習
		各コマにおける授業予定	聴覚活用の方法や発声発語の特徴、指導などについて学ぶ		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	機能性難聴について理解する	PC, プロジェクター配布資料 教科書	教科書の該当箇所を読む 前回の復習
		各コマにおける授業予定	心因性難聴の特徴、評価、合併症などについて学ぶ		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	難聴を伴う重複障害、社会福祉について理解する	PC, プロジェクター配布資料 教科書	教科書の該当箇所を読む 前回の復習
		各コマにおける授業予定	ダウン症候群、脳性麻痺、発達障害などと聴覚障害の合併について、聴覚障害と社会福祉について学ぶ		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	特異的な聴覚障害について理解し説明できる	PC, プロジェクター配布資料 教科書	教科書の該当箇所を読む 前回の復習
		各コマにおける授業予定	一側性難聴やオーデイトリーニューロパチースペクトラム(ANSD)、聴覚情報処理障害(APD)について学ぶ		